

学校番号

113

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合(現代文)	単位数	5単位(2)	年次	1年次
使用教科書	「精選国語総合」改訂版 現代文編(三省堂)						
副教材	改訂版 読み・解き・覚える「日本文学史必携」(第一学習社) 漢字検定5～2級対応 新常用漢字必携「パーフェクトクリア」(尚文出版) 「巻頭増補版 最新国語便覧」(浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ

- ・1年間で、基礎的な国語の教養、論理的な読解力と表現力を身に付けましょう。
- ・文章記述、話し合い、発表などは、主体的に取り組みましょう。
- ・文章を正確に理解し、他者に自分の考えを伝えるために豊富な語彙力を身に付けましょう。
- ・予習と復習により、国語力の定着を図りましょう。
- ・集中して勉強することで、定期考査を、基本的学力を定着させる機会にしましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選び、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・結論に至る、文章構成・流れを把握し、著者の主張を正しく読み取ることができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・異文化や異なる言語文化への関心を深め、自文化や国語と比較しながら論理的に思考する態度を育てている。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
評価の趣旨	異文化、他言語文化他者の感覚に対する関心を深め、国語力を身につける。	目的に応じて話し合い、自分の考えをまとめている。	目的・主張・質問に応じた適切な文章を書いている。	文章を的確に読解し、考えを発展させている。	知識を身に付け、国語力に繋げている。
評価の方法	行動の観察 記述の点検 (ノート等)	行動の観察 (発表等)	記述の確認及び分析(課題・ノート等) 定期考査	記述の確認及び分析(ノート等) 定期考査	記述の確認 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

※ 表中の観点

a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち、その単元で主として扱う国語の領域(b・c・d)に関わる観点には◎を付している。

※ 文学史「日本文学史必携」

※ 漢字「パーフェクトクリア」

※ 著者理解、語彙等「最新国語便覧」

学期	項目	学習内容	文学史	漢字	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
一学期	随想一	『待つ』ということ	p69 ~73、 p77	p54 ~59	○			◎	○	a 「待たない社会」と「待てない社会」の違いについて、筆者の叙述から考えようとする。 d 対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。 e 小テストの範囲から定期考査に反映させて到達度をみる。	a 態度 d 定期考査 e 小テスト
	評論一	「水の東西」			○			◎	○	a 文化の違いを理解する。 d 二項対立型の評論の読解方法を習得する。 e 小テストの範囲から定期考査に反映させて到達度をみる。	a 態度 d 定期考査 e 小テスト
	小説一	「羅生門」	p69、 p74~ p76 p78	p60 ~67	○	◎		○	○	a 登場人物の性格や心理を的確に読み取る。 b 小説の面白さを話し合う。 d 小説の読解方法を習得する。 e 小テストの範囲から定期考査に反映させて到達度をみる。	a 態度 b 観察 d 定期考査 e 小テスト
	評論二	「自然をめぐる合意の設計」			○			◎	○	a 「自然」をめぐる相反する考え方について関心を持つ。 d 筆者の考えを踏まえ、「近景の語り」と「遠景の語り」の相容れなさについて読み取る。 e 読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	a 態度 d 定期考査 e 小テスト
夏休み	課題	語彙力・読書		p136~ p153				○	◎	d まとまった本を読み、内容を理解し、課題を完成する。 e 基本的な語彙力を習得する。	e 課題提出 d 課題提出
二学期	表現一	「情報を読む」 「広告を読む」 (1学期期末考査後～)	p69 p79、 p80、 p84	P68 ~p73	○	◎	○			a メディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。 b 広告の効果や工夫について議論し発表する。 c 調査結果や統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の意見をまとめることができる。	a 態度 b 発表内容 c 感想 e 課題提出
	評論三	「情報と身体」			○			◎	○	a 筆者が述べる、情報と身体の関係を理解しようとする。 d 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。 e 読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	a 態度 c 作品提出 d 定期考査 e 小テスト
	評論四	「コインは円形か」			○			◎	○	a 言語表現について関心をもつ。 d 文章に用いられている表現技法の特徴を捉える。 e 常用漢字の読みに慣れる。	a 態度 c 発表 d 定期考査 e 小テスト
	小説二	「なめとこ山の熊」	p69 p81~ p83 p84	p74~ p79 p82、83	○		○	◎	○	a 作品の童話的な語り口のおもしろさに興味をもち、特殊な舞台空間の中で展開される人間と動物の共生について考え、人間観を深める。 c 作品に描かれる世界観を他の賢治作品との比較によりまとめる。 d 民話的な語り口のおもしろさと、そういう形式によってしか表現できなかった人間と自然との関係を読み解く。 e 作品に頻用されている「方言」の意味についても理解を深める。	a 態度 c 小論文 d 定期考査 e 小テスト

	評論五	「私たちはなぜ労働するのか」							○		◎	○	a 主題の「働くことの意味」について理解を深める。 d 論理展開に着目し、筆者の主張を読み取る e 読むことに必要な概念を理解し、使いこなす。	a 態度 d 定期考査 e 小テスト			
冬休み	課題	読書										○	d まとまった本を読み、内容を理解し、課題を完成する。	d 課題提出			
三学期	韻文	俳句 (二学期 期末考査後～)	p102～ 103+ 冒頭文 裏表紙	p84 ～p91					○	○	◎	○	○	a 鑑賞の仕方を習得する。 b グループで話し合う。 c 俳句を創作をする。 d 想像力や感受性を養う。 e 韻文規則の知識を押さえる。	a 態度 b 観察 c 創作 d 定期考査 e 小テスト		
	随想二	ぐうぜん、うたがう、読書のススメ (二学期 期末考査後～)								○				◎	○	a 「読書」について、筆者の言葉を通じて考える。 d 述べられる事例に着目し、筆者の考えを読み取る e 主な常用漢字について使い方を理解する	a 態度 d 定期考査 e 小テスト
	小説三	「青が消える」								◎				○	○	a 物語の設定を理解し、登場人物の心情に関心を示す。 d 描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理を理解する。 e 文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	a 態度 d 定期考査 e 小テスト
	評論六	「創造力のゆくえ」									○				◎	○	a 筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとする。 d 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。 e 読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。
春休み	課題		直前に冊子配布									○	◎	d まとまった本を読み、内容を理解し、課題を完成する。 e 長文読解、語彙、表現の実践を行う。	d 課題提出 e 課題提出		